

# 地 域 再 生 計 画 書

1 地域再生計画の名称  
歴史と自然が紡ぐ交流の郷（さと）NAGANO再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称  
長野県、長野市

3 地域再生計画の区域  
長野市の区域の一部（豊野地区）

4 地域再生計画の目標

平成22年1月1日に長野市、信州新町、中条村が合併し、人口38万人余りの長野市が誕生した。合併した長野市は、「都市部と中山間地域が共生する美しいまち」を目指し、都市部と中山間地域が一つのまちとして、バランスのとれた発展が図れるようまちづくりに取り組んでいる。合併により多くの歴史・文化・自然などの貴重な資源を保有することになった。

そこで、長野市では各地域の魅力を最大限に引き出し補い合う「多軸型のまちづくり」を目指しており、都市部のさらなる躍進と自然あふれる中山間地域の資源の保全や振興に向けた施策を通して「都市と自然が調和する多軸都市ながの」の創造に取り組んでいる。

計画区域である豊野地区は、長野市の北東に位置し、大半が鳥居川、浅川、千曲川の一级河川の沖積地で、近年は長野市中心市街地のベッドタウンとしての性格も強くなっている。このため、生活、文化、産業などの都市機能を隣接地域とともに分担し、相互に補完しあう役割を担い、長野市の北の玄関口としてふさわしいまちづくりが期待されている。

また、当地域は清らかな水と豊かな自然に恵まれた「りんごとぶどうの里」として果樹栽培を盛んに行っている。この恵まれた優良農地を活用した、りんご・ぶどうなどを主力とする農産物の産地化を図るとともに、農業と観光を結びつけた地域振興を推進するため、地域の主要道路となる国・県道やりんご農園等の観光拠点施設へ接続する道路ネットワークの整備を進める必要がある。具体的には、観光客のアクセスを容易にするため、豊野地区と上信越自動車道信州中野インターを結ぶ、広域農道を整備する。

広域農道の整備により、信州を代表する観光地である「善光寺」と「湯田中温泉郷」、「志賀高原」等を結ぶ観光ルートの沿線となる立地条件を活かし、観光と自然、農業を結びつけた地域振興を図るため、地域の主要道路である国道18号、国道117号、主要地方道長野荒瀬原線を連結する。更に、北信五岳が一望できる景観、りんごや桃の花の咲く頃が特に美しい「丹霞郷」、北信濃有数のつつじの群生地として知られるつつじ山公園等、これらの地域資源を活用した地域振興を図るため、広域農道と接続する市道を一体的に整備する。

（目標1）観光資源を活かした地域の活性化

◎「丹霞郷」の利用者数増加

3,000人/年（H23年）→3,300人/年（H27年）

(目標2) 拠点施設へのアクセス改善

◎「湯田中温泉郷」(山ノ内町)、「志賀高原」(山ノ内町)及び上信越自動車道信州中野インターから信州の代表的な観光地である「善光寺」(長野市)への移動時間を15分短縮する。

長野市豊野町大倉地籍「国道117号」～長野市「善光寺」までの所要時間  
50分 ⇒ 35分 (△15分)

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

豊野地区の営農団地から上信越自動車道信州中野インターを結ぶとともに、主要道路である国道117号～国道18号～主要地方道長野荒瀬原線を結ぶ基幹道路を「広域営農団地農道整備事業(上水内北部地区豊野幹線)」として新設し、当地域の骨格となる道路網の整備を図るとともに、上信越自動車道信州中野インターから当地域へのアクセスの改善を図る。

更に、広域農道から地域の観光拠点である「丹霞郷」、オーナー農園へのアクセスを良好にするため、「市道豊野109号線」を拡幅改良することにより効率的な道路ネットワークを構築し、観光と農業を結びつけた地域振興を活発化し地域再生を図る。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

○道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

[事業開始に係る手続き等]

- |               |          |            |
|---------------|----------|------------|
| ・広域営農団地農道整備事業 | 事業採択     | 平成4年4月9日   |
|               | 事業計画の確定  | 平成4年11月13日 |
|               | 最終計画変更確定 | 平成14年8月17日 |
| ・市道認定年月日      | 豊野109号線  | 昭和57年3月17日 |

[施設の種類・(事業区域)・実施主体]

- ・広域農道・(長野市)・長野県
- ・市道・(長野市)・長野市

[事業期間]

- ・広域農道(平成23年度～27年度)
- ・市道(平成23年度～27年度)

[整備量及び事業費]

- |           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| ・広域農道     | L=2, 044m、市道L=2, 000m            |
| ・総事業費     | 3, 816, 000千円(内交付金1, 908, 000千円) |
| (内訳) 広域農道 | 3, 616, 000千円(内交付金1, 808, 000千円) |
| 市道        | 200, 000千円(内交付金100, 000千円)       |

### 5-3 その他の事業

#### ○りんごオーナー制度、農業体験（市、地域主体）

消費者が直接生産地を訪れることにより、豊かな自然や新鮮な農産物を満喫できる、生産者と消費者が密着した農業振興を図る。また、農業体験を通じて農村と都市との交流を促進していく。

#### ○農産物直売（地域主体）

温泉施設である「りんごの湯」、「丹霞郷」、県道長野荒瀬原線沿線において地域で生産された農産物の直売を行う。

#### ○ソフト事業（市、地域主体）

地域活動や観光を促進するための地域イベントを実施していく。

- ・丹霞郷花祭り 毎年5月上旬に開催  
地元の農産物や山菜などの特産品販売
- ・善光寺前立本尊御開帳 7年に一度4月～5月に開催
- ・長野灯明まつり 毎年2月に開催
- ・善光寺花回廊 毎年4月下旬に開催
- ・湯田中温泉夏祭り 毎年7月～8月に開催
- ・志賀高原大蛇祭り 毎年8月下旬に開催
- ・志賀高原スキー場開き 毎年12月上旬
- ・つつじ山まつり 毎年5月第2日曜に開催 参加者500～700人  
神楽や獅子舞、豊野太鼓等の披露
- ・ヨイショコ祭り 毎年8月上旬に開催参加者8,000～10,000人  
子供のりんごみこし、豊野音頭にあわせた流し踊り  
花火大会

### 6 計画期間

平成23年度～27年度

### 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標について、長野県、長野市が計画終了後に状況を把握・公表するとともに、達成状況の評価・改善すべき事項の検討等行う。

### 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし